



県民スペシャル応援デー



いしかわアーバンスポーツパークス2025

ENJOY SPORTS



第33回いしかわスポーツレクリエーション交流大会
「武術太極拳大会」



石川県障害者スポーツ大会



**JAPAN
GAMES**

SAGA 2024 国ス ポ 全障ス ポ

新しい大会へ。すべての人に、スポーツのチカラを。

第78回国民スポーツ大会に参加した本県選手団は、「いしかわ DO THE BEST」のスローガンのもと、天皇杯順位20位台以内確保に向け健闘を誓い、各競技会場で熱戦を繰り広げました。

各競技団体が「チーム石川」の一員として誇りを持って戦った結果、天皇杯獲得点863点（昨年931点）、天皇杯順位は31位（前回は28位）となりました。団体競技では3団体、個人競技では6競技 12種目で優勝を果たされました。

日本一の栄光に輝いたみなさん

順位	団体競技		個人競技			
	種別	競技名(所属)	競技名	種別	種目	氏名(所属)
1	男子	自転車チームスピリット(石川選抜)	カヌー	成女	ワイルドK-1 1500m	笹生 裕子 (小松市立高校(教))
	成男	相撲(石川選抜)	ライフル射撃	成女	R60PR、R3P ※2種目優勝	平田 しおり (総合警備保障株)
			ウエイト	成男	73kg級スナッチ、外側&ジャーク ※2種目優勝	山下 立真 (法政大4)
	成女	ハンドボール(桃北國FHD)	ウエイト	成男	89kg級スナッチ、外側&ジャーク ※2種目優勝	新谷 遼 (金沢学院大大学院2)
			自転車	男子B	1kmタイムトライアル	山下 翔太郎 (日本大1)
			ウエイト	少男	89kg級スナッチ、外側&ジャーク ※2種目優勝	山下 由起 (飯田高3)
			陸上	少男B	100m	清水 空跳 (星稜高1)
			相撲	成男	個人	大森 康弘 (金沢学院大3)



チーム石川「勝つぞ!」



第23回全国障害者スポーツ大会に参加した本県選手団は、陸上や水泳、ボッチャなどの7競技に、22名の選手が出場しました。全競技において、16名の選手が金メダル4個、銀メダル7個、銅メダル7個、計18個のメダルを獲得して、各選手の日頃の熱心な練習の成果が十二分に発揮されました。

金メダルを獲得されたみなさん

順位	個人競技			
	競技名	種別	種目	氏名(所属)
1	陸上競技	視覚障害2部男子	100m	小坂 雅博(金沢市)
	陸上競技	知的障害少年男子	1500m	北島 壮汰(いしかわ特支)
	卓球	視覚障害2部男子	サウンドテーブルテニス	開田 正一(STTクラブ)
	ボッチャ	肢体不自由		山森 照夫(サニーメイト)
	ボッチャ	肢体不自由		吉本 彪流(3ストチャレンジ)



いしかわアーバンスポーツパークス

9月に金沢港クルーズターミナル、11月に小松駅前で、アーバンスポーツの代表的な種目を一堂に集め、体験会やパフォーマンスをする「いしかわアーバンスポーツパークス」を開催しました。

金沢会場は荒天でしたが、約7,500人にご来場いただき、各競技の体験を楽しんだほか、トップアスリートによるダイナミックなパフォーマンスに大きな歓声をあげていました。

小松会場では天候にも恵まれ、約1,500人の来場者があり、BMXやスケートボードなどを体験しました。参加者からは「BMXやスケートボードがしたくなった」「プロのパフォーマンスが凄かった」といった声が聞かれました。

県では、これからも若年層に人気のアーバンスポーツの普及促進を通じ、本県スポーツの裾野の拡大に取り組んでまいります。



スケートボード体験会（金沢会場）



ブレイキン大会（金沢会場）



パルクール体験会（金沢会場）



カポエイラパフォーマンス（金沢会場）



パラスポーツ体験会（金沢会場）



BMX体験会（小松会場）



ボルダリング体験会（小松会場）



3x3バスケットボール体験会（小松会場）

いしかわ県民スポーツの日

4月の第4日曜日を「いしかわ県民スポーツの日」とし、県民の皆さんが1年を通じてスポーツに親しむキックオフの日と位置づけ、本県スポーツの裾野の拡大を図ることとしています。

当日は、記念イベントの開催や県・市町のスポーツ施設の個人利用の無料化を実施しています。

<記念イベント>



トークショー



柔道体験教室



スポーツ体験コーナー



第38回いしかわスポーツ・レクリエーション交流大会

本県では、生涯スポーツの振興を図るため、平成4年度より石川県民スポーツ・レクリエーション祭を開催してきました。平成28年度に、大会の名称を「いしかわスポーツ・レクリエーション交流大会」に変更し、内容を拡充して実施しています。毎年1万人以上の参加があり、県内の生涯スポーツ最大イベントとして定着しています。



タグラグビーフェスティバル



ネオホッケー大会



男女混合綱引大会

いしかわジュニアアスリート発掘事業

将来、オリンピック選手やアスリートを夢見る子どもたちに、自分の興味・適性にあった競技を見つけるため、8月2日（金）金沢港クルーズターミナル、3日（土）小松総合体育館の2会場で「スポーツ能力測定会」と「スポーツ見本市」を開催しました。

参加した約110名の小学生～高校生は、最新機器で運動能力を測定し、そのデータを参考にしながら自分に適したスポーツを知ることができました。また、後日、県内競技団体が主催で「スポーツ体験教室」を実施し、より踏み込んで競技の魅力を体験しました。



スイングスピード測定



ホッケー体験



フェンシング体験

いしかわ健康増進キャラバン

「いしかわ健康増進キャラバン」は、年齢、性別、障がいの有無などに関わらず、運動・スポーツの習慣化を目指す取組です。取組に際しては、県内大学やトップスポーツチームの選手、各市と連携して、参加者と共に汗を流しました。七尾市、珠洲市では高齢者の介護予防をテーマに軽運動やダンスプログラムを行いました。小松市では女性や働く世代向け、ヨガピラティスや木場湯ウォーキングなど、家族でできる運動プログラムを行いました。金沢市では障がいのある方、ない方が共に楽しんで運動することをテーマに、ダンスプログラムやテニスボールを使った体幹トレーニングを行いました。



JOCいしかわ女性スポーツシンポジウム

「JOC いしかわ女性スポーツシンポジウム」は、女性をはじめ誰もがスポーツに親しめる環境づくりとスポーツの裾野拡大を図るため、国連が定めた「国際女性デー」にあわせて、日本オリンピック委員会（JOC）と連携し、女性スポーツの参加の意義を広く発信するシンポジウムです。

小谷実可子さんの基調講演をはじめ、石川県内での運動の習慣化の取り組み紹介や4名のオリンピックとスポーツドクターによるパネルディスカッションを行いました。



県内トップスポーツチームと連携した取組

県内トップスポーツチームとの包括連携協定及び一般社団法人石川ユナイテッド（※）との包括連携協

（※）一般社団法人石川ユナイテッド

県内トップスポーツチームで構成され、豊かで活力ある地域づくりに貢献するため、様々なスポーツを楽しむ機会を提供することを目的として活動。ツエーゲン金沢（サッカー）、石川ミリオンスタース（野球）、金沢武士団（バスケットボール）、PFUブルーキャッツ石川かほく（バレーボール）、北國ハニービー石川（ハンドボール）、金沢学院クラブ（バドミントン）、ヴィンセドール白山（フットサル）、金沢ポート（卓球）

がんばろう能登トップスポーツチーム交流プログラム

能登の復興支援を目的として、被災された方々の健康の保持増進や子どもたちのスポーツへのモチベーション維持や技術力向上を図るため、スポーツ体験会等を開催しました。12月29日（日）に穴水町で行われた金沢ポートとの連携による卓球教室にはパリ五輪の女子卓球メダリストの早田ひな選手（日本生命レッドエルフ）が駆けつけてくださいました。



県民スペシャル応援デー

スポーツの裾野拡大を図り、各チームへの応援気運を高めるとともに、能登の復興支援を目的として、各チーム年間1試合を「県民スペシャル応援デー」として、県民との交流イベント等を開催しました。



スポーツ教室

スポーツの裾野拡大を図るため、県内の小中学校や特別支援学校でスポーツ体験や講話などのスポーツ教室を実施しました。



いしかわスポーツキッズフェスタ

スポーツの裾野拡大を図るとともに、県内トップスポーツチームや各競技の魅力を発信するため、トップスポーツチーム選手による親子向けのスポーツ体験・交流イベントを8月4日（日）に開催しました。トップスポーツチームの選手との交流に加え、パラスポーツの体験も行われました。



石川県スポーツ大使

令和5年度から、本県ゆかりの著名なアスリートの皆さんを「石川県スポーツ大使」に委嘱し、スポーツの魅力や楽しさなどをスポーツイベント等を通じて、県民の皆さんにお伝えさせていただきます。

今年度、新たに、

- ・宮島徹也 氏
(東京パラリンピック男子車いすバスケットボール 出場)
 - ・宮浦真之 氏
(パリオリンピックローイング軽量級ダブルスカル 出場)
- に委嘱状を交付しました。



日本スポーツマスターズ



令和6年4月17日(水)、JAPAN SPORT OLYMPIC SQUAREで開催された日本スポーツ協会理事会において、2026年大会の本県開催が正式決定し、(公財)日本スポーツ協会の遠藤会長から馳知事に開催決定通知書が交付されました。

大会で生まれる活気や賑わいを、能登の創造的復興につなげるため、各競技団体・市町と連携し、開催に向けた準備を進めていきます。

開会式(前夜祭):令和8年9月18日(金)

会期:令和8年9月19日(土)~22日(火・祝)



石川県スポーツ推進委員協議会

「令和6年度石川県スポーツ推進委員研修会」が、「スポーツの力でみんなを元気に」の研修テーマのもと、12月8日(日)に、白山鶴来総合文化会館クレインを会場に開催されました。

石川県立門前高等学校硬式野球部野球指導アドバイザーの山下智茂さんによる「花よりも花を咲かせる土になれ」~育てる 楽しみ~と題した講演に続き、「スポーツの力でみんなを元気に」をテーマとしたシンポジウムが行われました。

研修テーマ「スポーツの力でみんなを元気に」

【内容】

①講演「花よりも 花を咲かせる 土になれ」

~育てる 楽しみ~

山下 智茂 氏

(石川県立門前高等学校硬式野球部野球指導アドバイザー)

②シンポジウム「スポーツの力でみんなを元気に」

コーディネーター:平見夕紀 氏(フリーアナウンサー)

シンポジスト:酒井康光 氏(小松市スポーツ推進委員)

山田利光 氏(白山市スポーツ推進委員)

越野貴成 氏(宝達志水町スポーツ推進委員)



生涯スポーツ・体力づくり全国会議2025

一人・スポーツ・未来

令和7年2月7日（金）石川県立音楽堂において、スポーツに関連する多様な人々が一堂に会し、研究協議や意見交換を行い、今後のスポーツの推進方策について検討する、生涯スポーツ・体力づくり全国会議2025が開催されました。

【内容】

1. 開会式・表彰式
2. 全体会 「国民のスポーツを通じたライフパフォーマンスの向上に向けて」
 ファシリテーター 久木留 毅（ハイパフォーマンスセンター長）
 スピーカー 室伏広治（スポーツ庁長官）
 伊藤数子（NPO法人STAND代表理事）
 宇山 賢（東京五輪フェンシング金メダリスト）
 津山一代（女子栄養大学特任教授）
3. 分科会
 - 第1分科会 「コロナ禍を経た女性のスポーツ実施率の変化と習慣」
 - 第2分科会 「『災害とスポーツ/フェーズ』避難所などにおけるスポーツレクリエーション」
 - 第3分科会 「『災害とスポーツ/フェーズゼロ』減災のために指導者ができること」
 - 第4分科会 「パラスポーツからみたスポーツの価値」
4. 情報交換会 会場：ホテル金沢



オープニング知事あいさつ



全体会



情報交換会

いしかわスポーツマイレージ事業

いしかわスポーツマイレージ事業では、スポーツを「する」「みる」「ささえる」の3つの活動においてポイント化します。貯まったポイントを使って、能登牛などの県産品や、協賛企業の商品などがもらえる抽選に応募することができます。

毎日の歩数や、県内で開催されるスポーツ大会・イベントに参加して貯めたポイントで、県産品や協賛企業の商品などがもらえる抽選に応募できます。

【景品（一部抜粋）】

- ・1等（15,000ポイント）
能登牛サーロインステーキ1キロ 5名
- ・2等（10,000ポイント）
ルビーロマン1房 10名
- ・3等（6,000ポイント）
ひやくまん穀5キロ 20名



詳しくは、

[いしかわスポーツマイレージ](#) 検索

石川県文化観光スポーツ部 スポーツ振興課

TEL076-225-1393 FAX076-225-1388 HP <http://www.pref.ishikawa.lg.jp/sports/index.html>

令和7年3月発行